

計画策定時に現状値等が未把握の2指標について

計画書P48～49、P54～56

	指標名	現状値	目標値
48	地域等で共食している人の割合	R6年3月把握	R6年度以降設定
51	K6(こころの状態を評価する指標)の合計得点が9点以上の者の割合	R6年3月把握	R6年度以降設定

48 地域等で共食している人の割合

計画書P48~49

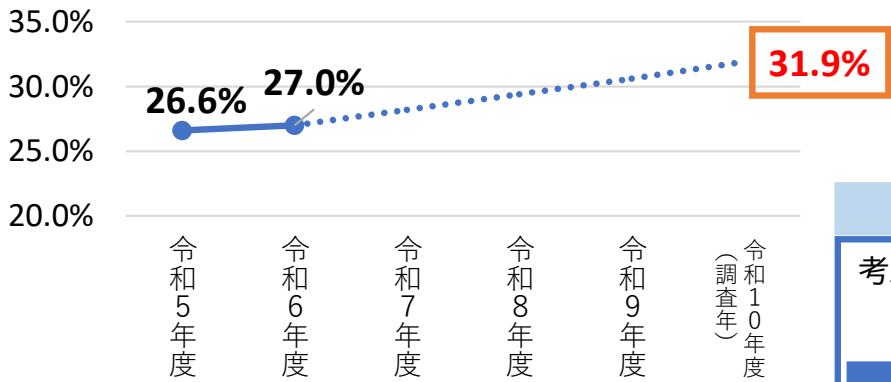
基本方針Ⅱ 県民誰もが健康になれる地域環境づくりの推進 施策の柱4地域で暮らし健康になれる環境づくり (1)食環境整備

◆指標

指標名	現状値 (R4)	目標値 (R16)	目標値の考え方	把握方法
47 やさしおバジ増しプロジェクト参加協力店数【再掲】	58 店舗	76 店舗 (R11)	第4期奈良県食育推進計画同様	現状値:67.3%
48 地域等で共食している人の割合	R6年3月把握	R6年度以降設定	第4期奈良県食育推進計画の目標値と同様	なら健康長寿基礎調査

※1なら健康長寿基礎調査の問4「あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において誰かと一緒に食事をするのはどのくらいありますか。」「1. 週1回程度」「2. 月1回程度」「3. 3か月に1回程度」「4. 6か月に1回程度」「5. 年に1回程度」「6. ほとんどない」のうち、
(ア) 地域の人 (イ) 友人・知人 のいずれかで「1. 週1回程度」～「5. 年に1回程度」を選んだ人の割合

国の目標達成に向けた改善計画：1.22ポイント/年（令和14年度まで）
→奈良県では4.9ポイント（≒1.22×4）/4年の増加を目標とする



※なら健康長寿基礎調査

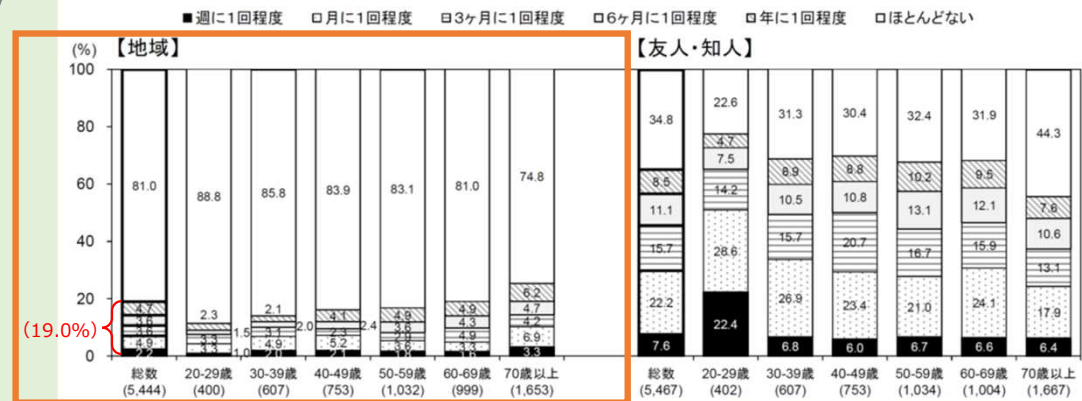
健康日本21（第三次）の指標

令和5年度国民健康・栄養調査 現状値：19.0%
健康日本21（第三次） 目標値：30.0%（令和14年度）

健康日本21（第三次）では、「地域等で共食している者の割合」を「地域」での共食頻度が「年1回以上」と回答した者の割合としている

図22 地域における共食の頻度（20歳以上、男女計・年齢階級別）

問：ここ1年間の様子についておたずねします。あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において、誰かと一緒に食事をするのはどのくらいありますか。



目標値設定(案)

考え方：国の指標と同様に「地域等で共食している者の割合」を、「地域」での共食頻度が「年1回以上」と回答した者の割合とし、目標値を国の進捗に合わせ、31.9%（令和11年度※2）とする。

※2：評価年度

指標名	現状値	目標値	目標値の考え方
地域等で共食している人の割合	26.6% (R5)	31.9% (R11)	第4期奈良県食育推進計画の目標値と同様

51 K6(こころの状態を評価する指標)の合計点数が9点以上の人の割合

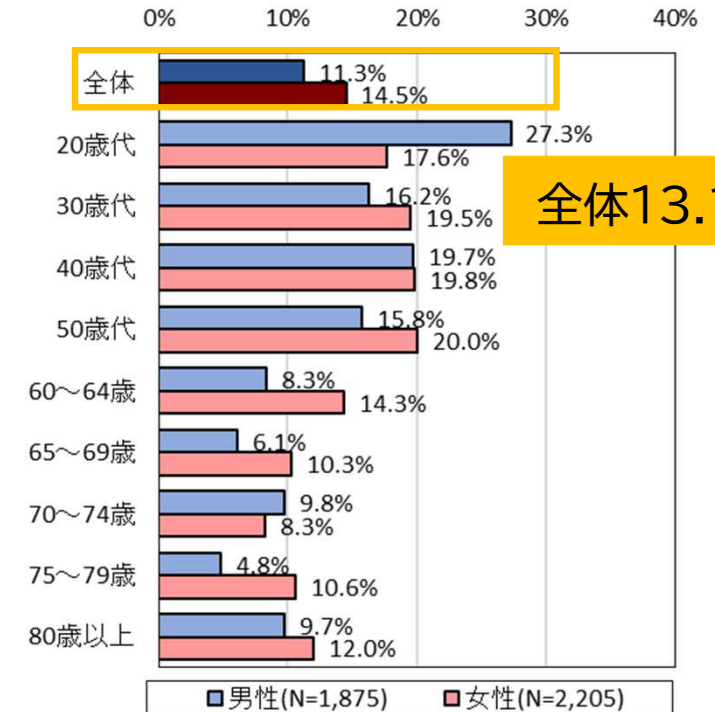
基本方針Ⅱ 県民誰もが健康になれる地域環境づくりの推進
 施策の柱4地域で暮らし健康になれる環境づくり
 (4)こころの健康

計画書P54~56

◆指標

	指標名	現状値 (R4)	目標値 (R16)	目標値の考え方	把握方法
51	K6(こころの状態を評価する指標)の合計得点が9点以上の人の割合	R6年3月把握	R6年度以降設定	(参考)健康日本21(第三次)の目標値9.4%(R14)	なら健康長寿基礎調査
52	ゲートキーパー養成数	1,357人	増加	中町村自殺対策計画	疾病対策課調べ
53	自殺死亡率(人口10万対)	18.2	9.5以下 (R9)	奈良県自殺対策計画の目標値と同様	人口動態統計(厚生労働省)

○K6の合計点数が9点以上の人の割合(R6)



< R6なら健康長寿基礎調査 >

K6について

K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。6つの質問について5段階で点数化し、合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

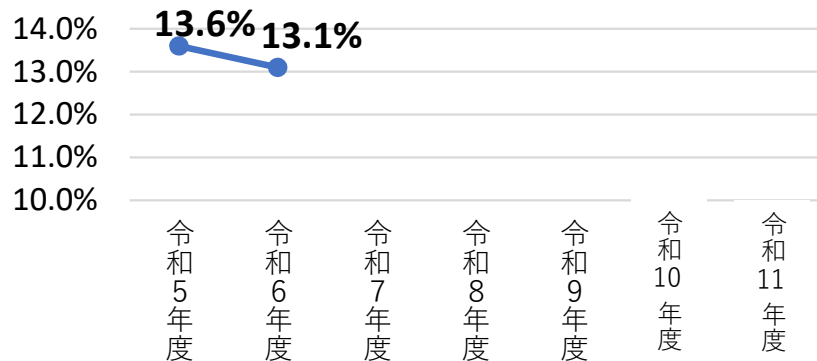
健康日本21(第三次)では10点以上の割合を指標としているが、奈良県においては奈良県自殺対策推進計画と整合をはかり9点以上の割合を設定している。

参考：K6の合計点数が10点以上の人の割合
 R5年度：11.0% R6年度：10.3%

目標値設定(案)

考え方: 参考値となる健康日本21(第3次)の現状値は10.3%(R元)、目標値は9.4%(R14)であるが、算出方法が異なるため、奈良県自殺対策連絡協議会(奈良県自殺対策計画所管)での検討結果を反映させることとする。

指標名	現状値	目標値	目標値の考え方
K6(こころの状態を評価する指標)の合計点数が9点以上の人の割合	13.6%(R5)	R7年度以降設定	現状値より改善する。今後の検討結果を反映させる。



※なら健康長寿基礎調査